

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年11月28日現在

**概況** ワシントン州東部の11月28日に終る1週間の気象は、低温と降雪の冬の気象となった。最低気温は各地で急激に下がり、EC地区の最低気温は-19~-6度Fとなり、平均気温は平年を16~20度F下回った。SE地区の最低気温は-11度~2度F、最高気温は32~44度Fであり、平均気温は平年を11~21度F下回った。1週間の降水量はEC地区で0.06~0.46インチ、SE地区では0.11~0.57インチで、降水は降雪によるものであった。1週間の州平均農作業稼働日数は1.6日(前週:3.7日)であった。Topsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”が減少しその分“Adequate”が増加した。Subsoilの土壌水分は良い状態が続いた。土壌水分は昨年より良い状態であった。2011年産冬小麦は概ね休眠に入った。殆どの小麦圃場が雪で覆われたが、Lincoln郡では寒波が襲った時点ではSnow Coverは1インチ程度であり、極寒と強風の為冬小麦に甚大な被害が出た可能性がある。Walla Walla郡では8インチほどのSnow coverとなり、小麦を寒波から守った。冬小麦の作柄は前週より多少落ちたが、昨年より良好な状態で冬季を迎えた。

今後の報告書は、来年の4月まで作柄状況を中心とした概況報告となります。

### 土壌水分及び灌漑用状況(\*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	9	67	24
	Last week	0	6	54	40
	5-Yr Ave.	NA	NA	NA	NA
Subsoil	This week	2	23	72	3
	Last week	2	24	71	3
	5-Yr Ave.	12	29	56	3
Irrigation	This week	0	1	94	5
	Last week	0	0	92	82
	5-Yr Ave.	NA	NA	NA	NA

### 冬小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	97	97	96	97

### 冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	13	70	17
Last week	0	0	11	72	17
Last year	3	6	29	51	11

(\*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上